

平成28年9月

## 渡部友視 学位論文審査要旨

主 査 西 村 元 延  
副主査 小 川 敏 英  
同 山 本 一 博

### 主論文

The effectiveness of non-ECG-gated contrast-enhanced computed tomography for the diagnosis of non-ST segment elevation acute coronary syndrome

(非ST上昇型急性冠症候群の診断における非心電図同期造影CTの有用性)

(著者：渡部友視、古瀬祥之、太田靖利、加藤雅彦、小川敏英、山本一博)

平成28年 International Heart Journal 57巻 558頁～564頁

### 参考論文

1. Clinical Scenario 1 is associated with winter onset of acute heart failure

(クリニカルシナリオ1は急性心不全の冬季発症と関連する)

(著者：平井雅之、加藤雅彦、衣笠良治、杉原志伸、柳原清孝、山田健作、渡部友視、山本一博)

平成27年 Circulation Journal 79巻 129頁～135頁

## 審 査 結 果 の 要 旨

本研究は急性胸痛を主訴に救急受診した患者群に対する非心電図同期造影CTが大動脈解離や肺塞栓などの鑑別だけでなく、目視で左室心筋の造影不良域を検出することにより、非ST上昇型急性冠症候群の診断にも有用か否かを検討したものである。その結果、左室心筋の造影不良域は、ほとんどの急性冠症候群患者で認められ、非ST上昇型急性冠症候群の診断において高い特異度と陽性的中率を示した。また、左室心筋の造影不良域の検出については、独立した2人の読影者間での良好な一致を認め、信頼性の高い評価法であることが判明した。本論文の内容は、心電図同期の冠動脈CTを使用せずとも、多くの急性期病院で常時使用可能な非心電図同期造影CTを用いて非ST上昇型急性冠症候群の診断が可能であることを示すものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。